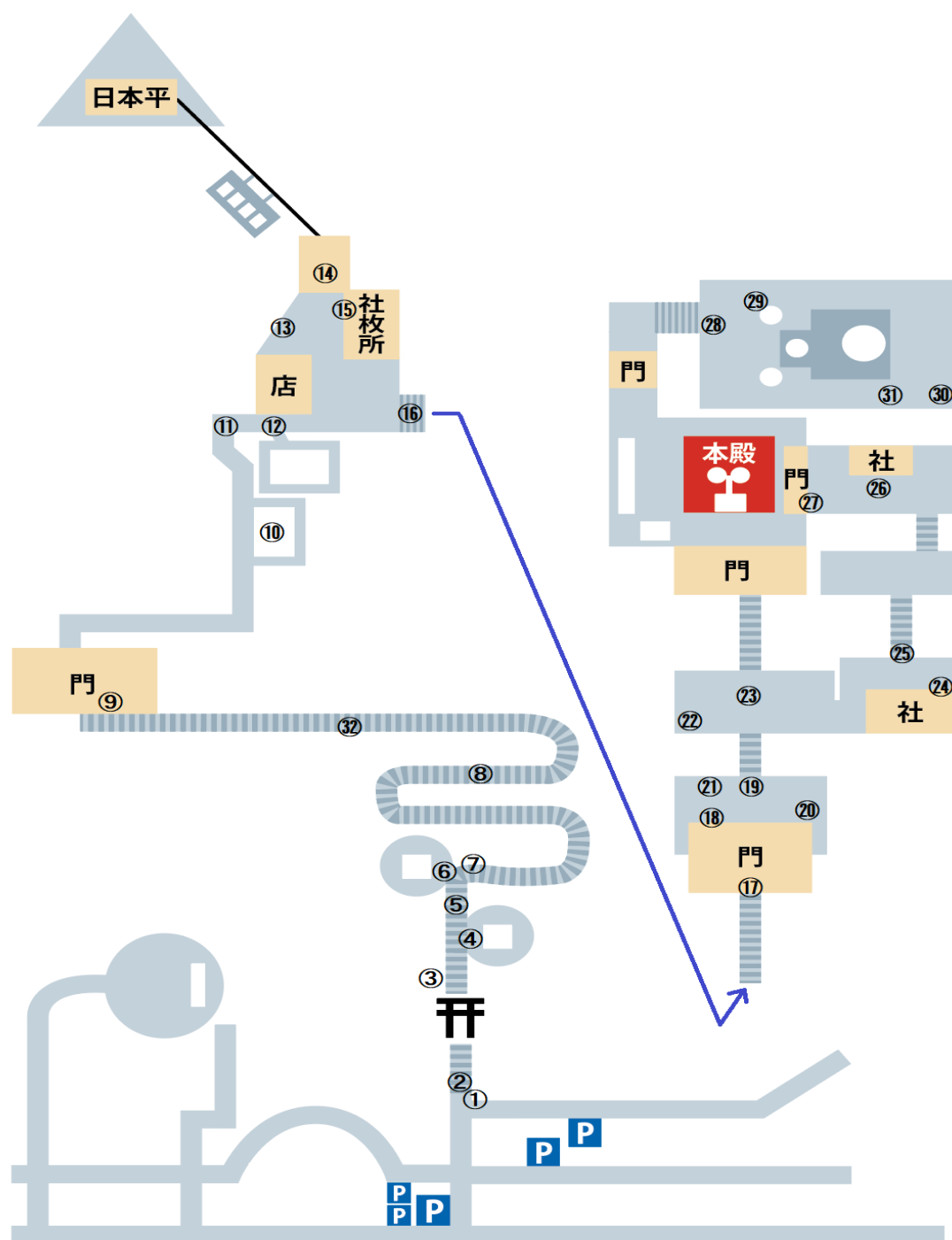


久能山東照宮 【感謝巡礼案内】

久能山東照宮について、県外に住む、お城プロRe殿ユーザーの方々が”感謝巡礼”をする際に、参考にしてもらえればと思い作成しました。特別詳しく解説しているわけではありませんが、地元民の視点で見どころや行き方についてまとめてみました。ぜひ参考にしてみてください。

自分が他県のお城に感謝巡礼した時、こんな紹介サイトがあったらよかったなと思った内容にしています。





①

久能山東照宮に行くための山道の入り口です。ここから900段近く登る事になります。結構体力使いますよ。



②

入山入り口の社（やしろ）です。登ってすぐ左側に久能山東照宮の解説地図看板があります



③

久能山東照宮の地図です。だいぶデフォルトされて描かれています。現地は階段とか多いです



④

徳川家康、秀忠、家光に仕えた南光坊天海（天台宗の高僧）により開かれた。





⑤

ここから長い階段になります



⑥

久能山と日本平の花見スポット



⑦

久能山東照宮『稲荷大明神』



⑧

階段途中から下を見下ろしました。まだまだ上はあります。





⑨

山道階段を上った先『一ノ門』

ここから「絶景かなー」



⑩

勘介井戸と書いてありますが、調べると勘助井戸と出ます。（すけ違いで変換ミスでしょうか）ここに自動販売機がありますよ



⑪

階段を完全に登りきると社務所に着きます。売店やロープウェイの乗り口があります。



⑫

徳川家康公と久能山東照宮の歴史解説をする博物館





⑬

久能寺、久能山城、久能山東照宮
について説明された看板



⑭

日本平⇄久能山
ロープウェイ入り口



⑮

解説電子掲示板やロッカー完備



⑯

『楼門』
料金を払って最初に見える門

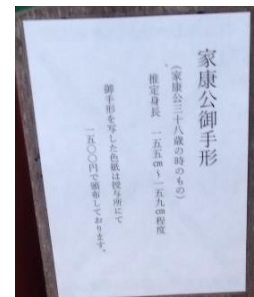




⑰俗世と神域を区切る境界。上部中央の彫刻には「バク（平和の象徴）」が彫られている



⑱家康公の手形



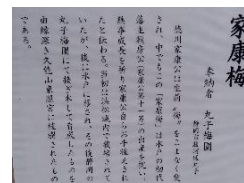
⑲

楼門をくぐった1段目の広場



⑳家康梅

徳川家康公お手植えと伝わっています





⑳

愛馬は亡くなった後に、家康公の墓所の右脇に葬られ、木像の神馬を建てています。



㉑

五重棟跡

五重塔跡
 二代將軍家光公の建立で
 高さ約三十米、輪窓を有
 したものである。
 明治六年神仏分離で
 取払われ現在は在りし口を
 覆ふ礎石を残すのみ
 中央の朝鮮蘇鉄は駿府城
 本丸より移植したものです。



㉒

楼門をくぐった2段目広場



㉓

神楽殿（寄贈された静岡伝統工芸品現代版）





②5

『日枝神社』へ向かう階段



②6

重要文化財『日枝神社』

重要文化財
日枝神社
祭神 大山 咋命
旧御本地堂で義師如来を安置してあったが、明治三年神仏分離の際に仏像を廃し後に今の名称に改めた。元和三年の建造である。(西暦一六一七年)



②7

久能山東照宮本殿入り口

本殿はご自分で確認していただき
感動をお楽しみください！



②8

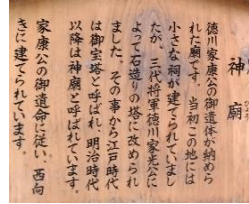
神廟（家康公のご遺体が納められた廟）





29

神廟の説明看板



30

家康公”愛馬”のお墓



31

金の成る木



32

一ノ門超えて下の景色

